



新潟大学

東北がんプロフェッショナル養成推進プラン 平成26年度活動・実績報告

新潟大学 がんプロ H26年度 事業計画

- ① E-learningにおいてはH24年度に収録したものをを用いた講義を実施することにより、病院に勤務している社会人大学院生の教育の充実を図り、実質的な大学院教育を行う。
- ② 毎週実施されるがんサージカルボードに出席・発表・討論することを通して、総合的な知識と技能をもつ医療人の養成を図る。
- ③ 放射線腫瘍医・博士課程および医学物理士・博士前期課程を継続し、放射線治療に関わる人材の育成を行う。
- ④ 腫瘍内科医・博士課程、緩和医療医・博士課程、腫瘍外科医・博士課程を開講し、がん医療人の養成を開始する。
- ⑤ 医歯学総合病院で研修する医師に対して、がんプロの説明会を開催し、がんプロの概要を周知すると共に、コース選択を促す。
- ⑥ 他施設における医学物理士臨床研修の調査を行い、H27年度開講する医学物理士臨床研修（レジデント）コースの資料とする。

新潟大学 がんプロ H26年度 事業計画

- ⑦ 新潟県内がん診療連携拠点病院協議会においてがんプロの概要を周知することにより、がん診療拠点病院の研修医へのコース選択を働きかけると共に、地域における人材育成について協議する。
- ⑧ 連携大学と共催で医学生・前期研修医のための放射線治療セミナー合宿を開催し、放射線治療への理解を深めると共に、本取組への参加を促す。
- ⑨ 連携大学と共催で 医学生・前期研修医のためのがん薬物療法セミナー合宿を開催し、薬物治療への理解を深めると共に、本取組への参加を促す。
- ⑩ がん薬物療法・がん緩和ケア・放射線治療・医学物理・腫瘍外科等の生涯教育セミナーを開催し、医療人の生涯教育を実施する。
- ⑪ 市民公開講座を実施し、市民に正しいがんの知識と情報を提供する。

大学院生入学

コ ー ス 名	修業 年限	H26年度 入学実績	H27年度～ 募集人員
がん薬物療法医養成コース(がん教育改革)	4年	1名	2名
放射線腫瘍医養成コース	4年	—	2名
がん薬物療法医養成コース(地域腫瘍内科医)	4年	1名	4名
がん専門医養成コース(地域腫瘍外科医)	4年	3名	2名
がん緩和医療医養成コース(地域緩和医療医)	4年	—	2名
博士前期課程・医学物理士養成コース	2年	2名	2名
博士後期課程・医学物理コース	3年	1名	1名
がん薬物療法医養成コース(インテンシブ)	6ヶ月	2名	3年間で6名
医学物理士養成・臨床研修コース(レジデントコース) (インテンシブ)	2年	— (H27年度開講)	2年間で4名

大学院教育

- がん薬物療法医養成コース(がん教育改革) → **1名入学**
- がん薬物療法医養成コース(地域腫瘍内科医) → **1名入学**
- がん専門医養成コース(地域腫瘍外科医) → **3名入学**
- 博士後期課程・医学物理コース → **1名入学**
- 博士前期課程・医学物理士養成コース → **2名入学**

H26年度認定試験状況

- 医学物理士認定試験 → **2名合格**

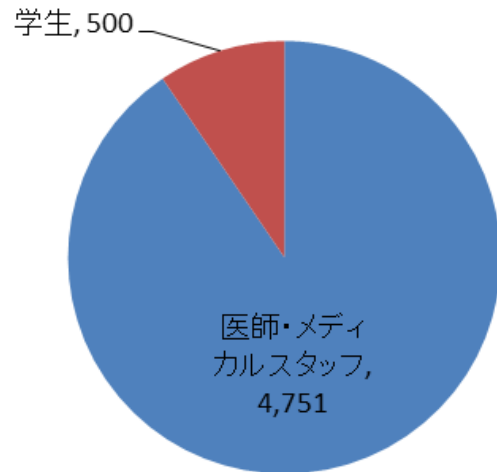
ISTU・e-learningクラウドの継続的な受講

- 受講登録者数 **18名**

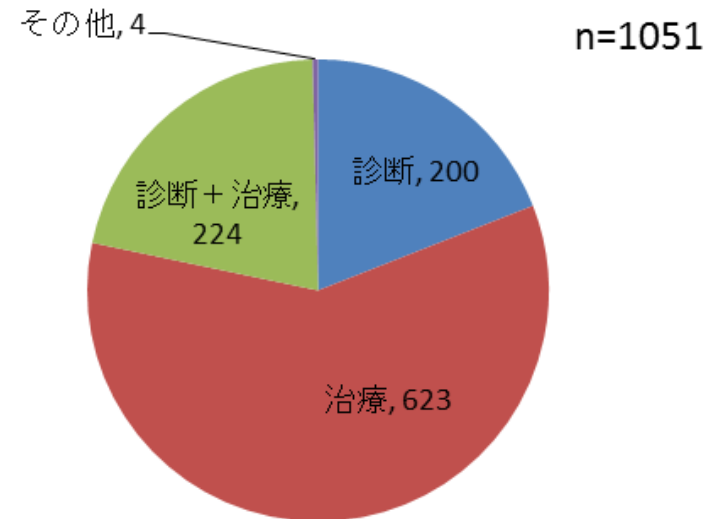
カンサーボード

(H25.1～H27.2実施データ)

カンサーボード出席人数
(毎週水曜日実施)



カンサーボード検討項目



平均出席者数

(医師・メディカルスタッフ) 44名/回

(学生) 5名/回

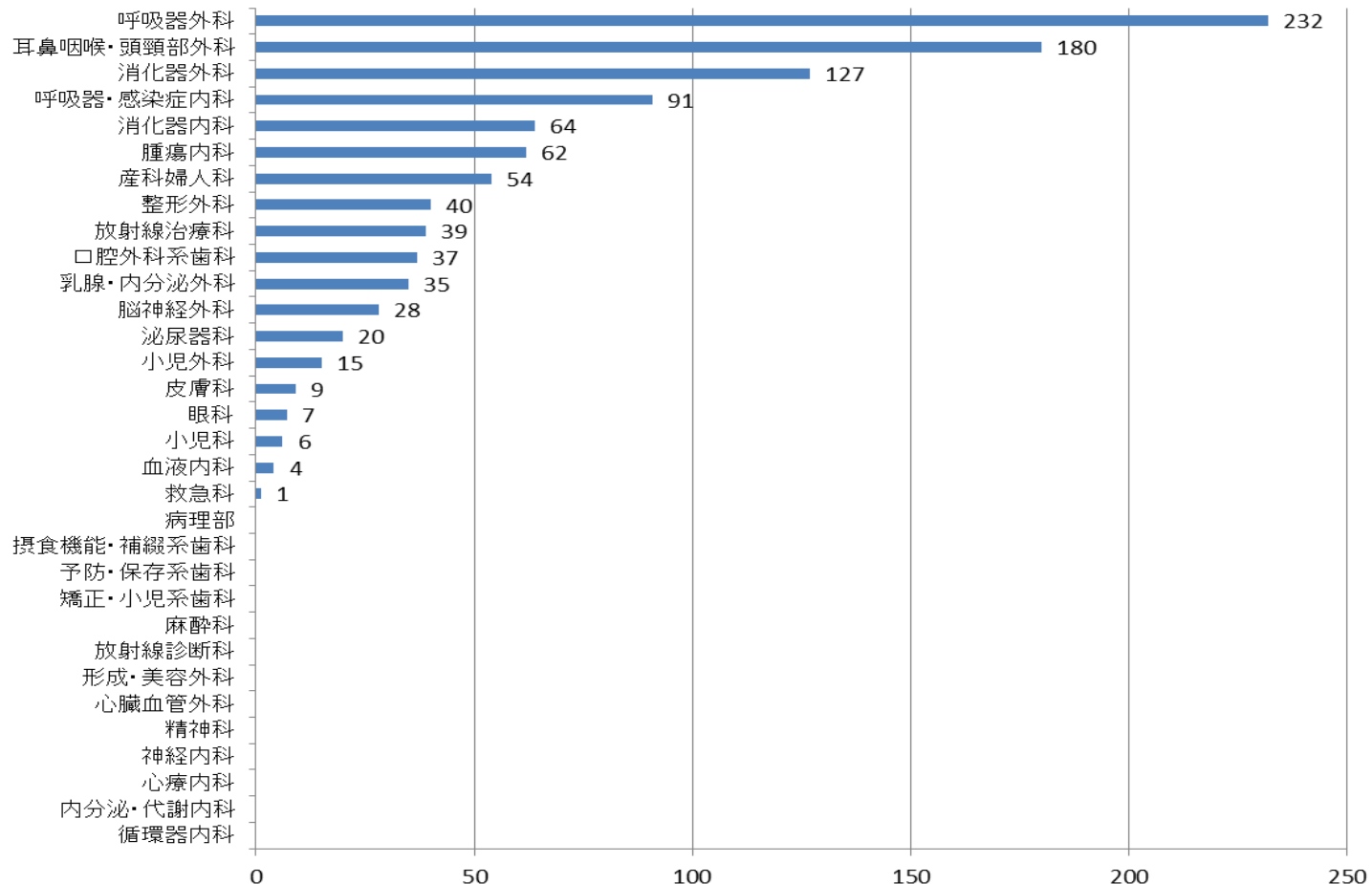
平均依頼数 9.7件/回

がんサード

(H25.1～H27.2実施データ)

がんサード検討依頼数 (H25.1～H27.2)

n=1051



新潟県内がん診療拠点病院協議会



参加者:31名(本院および県内の他病院等)

●H27年2月14日

新潟県がん診療提携協議会研修教育部会シンポジウム

(主催：新潟県がん診療連携協議会研修教育部会)において、
がんプロを通してがん診療とがん専門職の今後と題し、
がん医療におけるチーム医療の推進に向けて講演した。

新潟県がん診療提携協議会研修教育部会シンポジウム

「がん診療における
チーム医療の推進に向けて」

平成27年
2月14日(土) 13:30~15:30
開場 13:00

会場：新潟医療育成センター4階 ホール
新潟市中央区旭町通1番地757番地 新潟大学旭町キャンパス内
対象：医師(研修医含む)、メディカルスタッフ、学生他

発表

1. 済生会新潟第二病院 高橋 由美 副看護部長
2. 長岡赤十字病院 白井 直美 看護部長
3. 新潟県立中央病院 永井 孝一 内科診療部長

基調講演

「がん診療とがん専門職の今後」
新潟大学医歯学総合病院腫瘍センター部長 西條 康夫

座長

新潟県立がんセンター新潟病院内科部長 今井 洋介

主 催：新潟県がん診療提携協議会研修教育部会
共 催：東北がんプロフェッショナル養成推進プラン
問合せ先：新潟大学医歯学総合病院
腫瘍センター事務局 (TEL:025-227-2438)

参加申込
不要

国内外の研修

- 国内研修

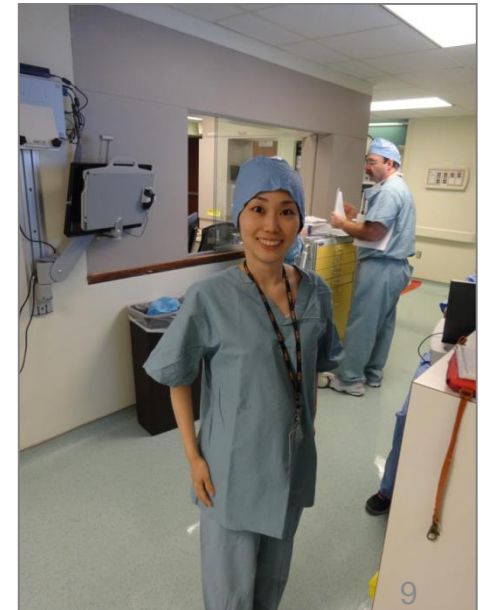
- 学会参加支援(臨床腫瘍学会など)



- 海外研修

- バージニア州立大学研修

研究成果のプレゼンテーション能力の向上
腫瘍外科臨床及び基礎研究見学



がんプロ開催セミナー（H26年度）

開催日	演 題 ・ 講 師	受講人数
9/12	第1回 がんプロセミナー・がんプロFD 「神在りの国から ーがんプロと地域・チーム医療への取り組みー」 (島根大学 櫻井晃洋)	20名
10/10	第2回 がんプロセミナー 「胃癌の標準治療とその実際」 (がん・感染症センター都立駒込病院 矢島和人)	49名
1/24	平成26年度 医学物理セミナー (国立がん研究センター東病院臨床開発センター 西尾禎治) (新潟大学理学部 大坪 隆) (新潟大学医歯学総合病院 棚邊哲史)	35名
2/8	東北がんプロ 第3回市民公開講座 「がんの学舎 -まなびや-」 「早期前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術」 (新潟県済生会三条病院 渡辺竜助) 「手術支援ロボット ダ・ヴィンチによる直腸癌手術」 (新潟市民病院 山崎俊幸) 「手術支援ロボット ダ・ヴィンチによる胃癌手術」 (新潟市民病院 桑原史郎)	79名
2/20	第3回がんプロセミナー 「肺癌の放射線治療;根治照射から緩和照射まで」 (静岡県立静岡がんセンター 原田英幸)	26名
2/27	第4回がんプロセミナー 「地域緩和ケアの実情 拠点病院外の緩和ケア」 (新潟県立加茂病院 本間英之)	26名
3/6	第5回がんプロセミナー 「進行肺癌の集学的治療における呼吸器外科医の立ち位置そして患者さん、臨床検体を大切にした研究: challenge and change」 (埼玉県立がんセンター 浦本秀隆)	21名 10

「がんの学会」がんにについてみんなで語り学ぼう!

da Vinci SURGICAL SYSTEM

手術支援ロボット 「ダ・ヴィンチ」による 体にやさしい外科手術

日時 平成27年
2月8日(日)
14:00~16:00(開場13:30)

場所 朱鷺メッセ
新潟コンベンション
センター3階
中会議室(301)

参加費
無料

〈はじめに〉 手術支援ロボット ダ・ヴィンチについて 新潟大学医学総合病院 泌尿器科 高田善彦 先生 / (約10分)

講演 1 早期前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術
済生会三条病院 泌尿器科 渡辺竜助 先生 / (約25分)

講演 2 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による直腸癌手術
新潟市民病院 消化器外科 山崎俊幸 先生 / (約25分)

講演 3 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による胃癌手術
新潟市民病院 消化器外科 桑原史郎 先生 / (約25分)

※演題が変更となる場合があります。またプログラムの進捗により、開始終了時間が前後する場合があります。ご了承ください。

主催 文部科学省 採択事業
東北がんプロフェッショナル養成推進プラン(東北大学・
山形大学・福島県立医科大学・新潟大学共同プロジェクト)

共催 新潟大学
医学総合病院
腫瘍センター

〈お問合せ先〉

新潟大学がんプロ事務局 〒951-8510 新潟市中央区加通1番町757
E-mail: n-ganpro@med.niigata-u.ac.jp
TEL.025-227-0389 FAX.025-368-9005

※電話でのお問合せは(9:00~16:00)の間をお願いします。(月・土・日・祝日も除く)

▶会場の定員に限りがありますので、電話・FAX・電子メール等で事前にお申し込みをお願いします。



リサイクル推進
この印刷物は、環境にやさしい
リサイクル紙を使用しています。



大学院特別講義

新潟大学
医学物理セミナー

参加費無料
参加申し込み不要

日 時：平成27年 1月24日(土) 15:00~17:35

場 所：新潟医療人育成センター
2階 セミナー室（定員144名）

対 象：学生、医学物理士教育関係者、医学物理士、医師（研修医含む）
放射線技師、看護師、メディカルスタッフ等

- プログラム -

開会挨拶 [15:00]

青山 英史 新潟大学大学院医歯学総合研究科・教授

講演 1 [15:05] 「産学官連携における医学物理研究開発」

西尾 禎治 先生 独立行政法人 国立がん研究センター東病院臨床開発センター
粒子線医学開発分野ユニット長

*****休 憩 [16:05 ~ 16:15] *****

講演2 [16:15] 「高エネルギー重イオンビームの反応断面積研究」

大坪 隆 先生 新潟大学理学部物理学科・准教授

講演3 [17:00] 「新潟大学医学物理士レジデントコース開始に向けた取り組み」

棚邊 哲史 先生 新潟大学歯学部総合病院
特任助教

閉会挨拶 [17:30]

和田 真一 新潟大学大学院保健学研究科・教授
司会: 宇都宮 悟
(新潟大学大学院医学総合研究科・特任助教)

◎駐車場ゲート奥に無料駐車場(地図参照)をご用意しておりますが、台数に限りがございます。できるだけ公共交通機関でお越し願います。地図上のパーキング **P** は料金が発生いたします。あらかじめご了承くださいませ。

◆問合せ先◆医歯学総合研究科:宇都宮 悟
[E-mail:sutsumo@med.niigata-u.ac.jp]

主催：東北がんプロフェッショナル養成推進プラン 共催：新潟大学医歯学総合病院腫瘍センター



参加者:35名(大学院生,放射線技師,
医学部生、医師他)



医学物理士レジデントコース設置準備

於：新潟大学医歯学総合病院

- 医学物理士増員（病院特任助教）平成26年4月着任
- 2014年7月7日（月） 病院運営委員会
 - 医学物理士レジデントコース設置を審議・了承
- 2014年7月15日（火） 病院合同運営会議
 - 医学物理士レジデントコース設置を審議・了承
- 2014年9月8日（月） 病院運営改善専門委員会
 - 医学物理士レジデント人事案件の審議・了承
- 2014年9月18日（木） 医学物理士レジデント公募開始
- 2014年10月21日（火） 病院合同運営会議
 - 「新潟大学医歯学総合病院放射線治療品質管理委員会内規」
 - 「新潟大学医歯学総合病院放射線治療品質管理室要項」
 - 「新潟大学医歯学総合病院における医学物理士レジデント取扱要項」
 - の審議・決定

（以上の内規、要項の実施：平成26年11月1日から）

- 2014年11月 医学物理士認定機構教育コース認定申請
(大学院保健学研究科博士前期課程認定申請)
(新潟大学医歯学総合病院医学物理士レジデントコース認定申請)
- 2014年12月8日 医学物理士レジデント応募者採用試験・面接実施
- 2014年1月10日 医学物理士レジデント採用内定通知送付
- 2014年2月9日付け 医学物理教育コース認定審査結果通知受信
 - ・ 大学院博士前期課程：認定(2015年4月1日～2019年3月31日)
 - ・ 医学物理士レジデントコース：認定不可

→ レジデントコースについては異議申し立て中

(申立理由：認定機構の臨床研修施設基準を満たしていると考えられ、先例との照合において、認定不可と判定される認定基準上の理由が不明確であり、明確な判定基準の開示を求める。)
- ・ 2015年度 新潟大学医歯学総合病院
医学物理士レジデントコース開設予定

Setting Up a Radiotherapy Programme:

Clinical, Medical Physics,
Radiation Protection and Safety Aspects



SETTING UP A RADIOTHERAPY PROGRAMME: CLINICAL, MEDICAL PHYSICS, RADIATION PROTECTION AND SAFETY ASPECTS

© IAEA, 2008

Printed by the IAEA in Austria
February 2008
STI/PUB/1296

INTERNATIONAL ATOMIC ENERGY AGENCY
VIENNA, 2008

TRAINING COURSE SERIES No. 37

CLINICAL TRAINING OF MEDICAL PHYSICISTS SPECIALIZING IN RADIATION ONCOLOGY

INTERNATIONAL ATOMIC ENERGY AGENCY
VIENNA, 2009



IAEA
International Atomic Energy Agency

Clinical Training of Medical Physicists Specializing in Radiation Oncology

AN EXAMPLE OF THE ASSESSMENT MATRIX OF A SUB-MODULE

Sub-module 6.5: Calibration of Brachytherapy Sources

Competency	Level of Competency Achieved			
	1	2	3	4
Understand the principles and practices of the calibration of brachytherapy sources.	Understands a limited understanding of the principles and practices. Requires close supervision in some parts of the calibration.	Understands a good understanding of the principles and practices. Requires close supervision in some parts of the calibration.	Understands a good understanding of the principles and practices and is able to perform calibration of sources independently, with occasional minor errors, which do not significantly impact the results.	Understands a good understanding of the principles and practices and is able to perform calibration of sources independently, with occasional minor errors, which do not significantly impact the results.
Date Issued	24 Jan 2007	24 Jan 2007	24 Jan 2007	24 Jan 2007
Supervisor's Initials				

Notes: Supervisor comments (referring to assessment criteria & recommended dates of training):
 24 Jan 2007: Understood the principles of calibration of sources but has not yet developed the necessary skills.
 1 April 2007: The developed the skills required for the safe handling of sources and is able to perform the process for calibration of brachytherapy sources. Needs some help with understanding the uncertainties.
 1 May 2007: Capable of calibrating sources and preparing source data for treatment planning and a calibration report. Understands the full range of activities required for this competency.

VIENNA, 2009

TRAINING COURSE SERIES **37**

IAEAガイドラインにおいても、Clinically qualified radiotherapy medical physicistの要件として、大学院修了者であると共に、医学物理士の指導下の臨床訓練修了者であることが強調されている。

It is emphasized that the holder of a university degree in medical physics without the required hospital training cannot be considered to be clinically qualified.

医学物理士認定機構ガイドラインでも同様の主旨が述べられている。

2014年1月公布:厚生労働省健康局長通知

(健発0110第7号:平成26年1月10日)

・がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針

Ⅱ 地域がん診療連携拠点病院の指定要件

1. 診療体制

(1)診療機能

(2)診療従事者

①専門的な知識及び技能を有する医師の配置

②専門的な知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置:

② 専門的な知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置

ア 専従の放射線治療に携わる常勤の診療放射線技師を1人以上配置すること。なお、当該技師を含め、2人以上の放射線治療に携わる診療放射線技師を配置することが望ましい。また、当該技師は日本放射線治療専門放射線技師認定機構が認定を行う放射線治療専門放射線技師であることが望ましい。

専任の放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる常勤の技術者等を1人以上配置すること。なお、当該技術者等は一般財団法人日本医学物理士認定機構が認定を行う医学物理士であることが望ましい。

医学物理士の果たすべき役割とその需要が、特に地域がん連携拠点病院で急速に拡大している今日、医学物理士レジデントコースを国内に普及させることは喫緊の課題である。

ま と め

- 平成26年度の事業計画に沿って、ほぼ予定通り実施した。
- 平成26年度は8名の大学院生が入学した。
- 臓器横断的がん診療演習を目的としたカンサーボードを週一回通年で開催した。
- 医学物理士認定試験に2名が合格した。
- 放射線治療品質管理委員会、放射線治療品質管理室を設置した。
- 医学物理士レジデントコース平成27年度開設に向けて、院内諸会議で了承を得ると共に、レジデント1名を公募し、採用内定した。